



元気よく石段を駆け上がる九町保育所園児(九町八幡神社)



神主さんに合わせ、拍手を打つ伊方保育所園児(伊方八幡神社)

# 「七五三」でお宮参り

町内各保育所

11月15日

# 報 伊 方 町

発行所  
伊方町  
愛媛県西宇和郡伊方町湊通  
〒796-03 電話(0894)38-0211  
編集室  
町長公室  
印刷所  
豊明社  
(株)豊明社  
八幡浜市松栢 電話22-0144

キャッチフレーズ

いま拓く  
豊かな伊方  
ゆめ・未来

### 町民憲章

私たちは伊方町民であることに誇りをもち、生きがいと魅力ある町づくりをめざすため、この憲章を定めます。

- 「健康で働くことに喜びをもち、豊かなまちを築きます。」
- 「ふれあいを大切にしみじみ楽しく暮らします。」
- 「自然を愛し、緑豊かな美しいまちをつくります。」
- 「まきをまもり、安全で平和なまちをつくります。」
- 「きまわりを守り、安全で平和なまちをつくります。」
- 「教養を高め文化の香り高いまちをつくります。」

## 「七五三」お宮参りの起こり

「七五三」はその名のとおり、7歳、5歳、3歳の子のお祝いで、江戸時代の1681年(天和元年)から11月15日に行われるようになりました。それまでは日も一定せず、男女で祝う歳も違い、それぞれ吉日を選んで氏神にお参りしました。

3歳、7歳は女の子の「帯の祝い」で付けひもとって帯をしめ、男の子は5歳で、「袴着の祝い」といい、はかまをつけました。

子どもは7歳になってはじめて社会の一員となり、それより前は「神の子」といって、死んでも本葬は行いませんでした。7歳が人間として、第二の誕生であったわけです。

「七五三」などといっだしたのは明治以降で、都会の商業政策から盛大になりました。この日は新しい衣服を着飾って氏神にお参りし、神社でおはらいを受け、千歳あめを買いました。

地方では、3歳は髪おき・ひもとおし・おせんすわり、5歳でかつぎぞめ・帯解き、7歳で氏子入りして人別帳に記入され、七ツ子詣をしました。

### 八幡浜・大洲地区運動公園

#### 陸上競技場全面改修工事完了!

(厚生年金・国民年金の融資事業)

八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合では、スポーツの振興と体力の向上のために、昨年度から今年8月にかけて、大洲市平野町にある八幡浜・大洲地区運動公園陸上競技場の全面改修を行いました。

ワールド全面に緑色の芝がよみがえり、走路も整備され、サッカーの正式コートもとれます。そのほかに円盤・ハンマー投げも競技可能になりました。

この事業は、厚生年金、国民年金積立金の還元融資を受けて、約6千6百万円で整備されたものです。

心と身体の健康づくり、体力づくりに、お気軽にご利用ください。

※申込み及び問い合わせ先  
大洲市平野町野田乙  
1644番地  
八幡浜・大洲地区運動公園  
管理事務所  
(毎週火曜日が定休)  
☎(0893)2355224



### 健康づくりは「まず歩く」

#### 第4回健康ウォーク

歩くという動作は、人間の最も基本的な運動の一つです。

最近では、交通機関の発達や電化、また社会環境の変化で、生活の中で歩く機会が少なくなりつつあります。

そこで、手軽な運動「歩く健康法」の実践により、運動不足の解消と健康づくりへの意識を高めようと10月28日(土)、第4回健康ウォークが開催されました。

参加者は幼児から小中学生、一般、老人まで約150名で、伊方小学校グラウンドで準備体操をした後、室鼻公園まで班ごとに分かれて元気よく歩いて行きました。

また、町国民健康保険からは「万歩計」が貸し出されました。

室鼻公園では、ゲーム・レクリエーションで老若男女が楽しく交流しました。





ストレッチ体操

地域健康づくりフォーラムin伊方

# 自分の健康は自分で守る

県民一人ひとりが、生涯を通じての健康を目指すため、「自らの健康は自らの手で守る」という自覚と認識を高めるとともに、家族ぐるみ、地域ぐるみで積極的に健康づくりを実践することは、健康水準向上のための基礎です。

このため、「県民健康の日（毎月10日）」の一層の普及と定着を図ることを目的として、10月25日(木)、町民会館4階大ホールで「地域健康づくりフォーラムin伊方」が開催されました。

このフォーラムは、八幡浜中央保健所と伊方町の主催で、八西地域各市町と八幡浜医師会などの後援をもって行われ、地域住民及び保健衛生関係者ら約500人が参加されました。

最初の特別講演では、愛媛大学医学部公衆衛生学教室教授の小西正光先生が、「脳卒中の予防について」と題して、血圧やコレステロール、塩分



講師の小西正光先生

と指導がありました。

続いて、八幡浜中央保健所井上豊健康指導係長の指導で、ストレッチ体操が行われ、その後、健康づくり実践者体験発表がありました。

本町からは、保健栄養推進協議会の藤川晴子さん（川永田）が、「健康づくりと地区組織活動」について発表されました。

4階ロビーでは、関連行事として体脂肪測定や健康相談、栄養相談などが行われました。



### ～健康づくり10か条～

- 1.年に1回、健康診断
- 2.1日1回、体重測定
- 3.塩分摂取を控えめに
- 4.主食をしっかり、副食をほどほどに
- 5.毎日違った料理形態(和・洋・中)
- 6.毎日、牛乳1本
- 7.アルコールは多くても1日2合まで
- 8.水分補給で脱水を予防
- 9.歩く習慣を身につける
- 10.禁煙



## 健康冊子「痛風と高尿酸血症」を寄贈

### 伊方ライオンズクラブ

10月27日(金)、伊方ライオンズクラブから健康読本シリーズ第16号「痛風と高尿酸血症」を寄贈いただきました。

ライオンズクラブからは毎年この時期に、健康に関する冊子を寄贈いただいております。ぜひ、一読のうえ、健康管理には十分気をつけましょう。

## 新・増築、滅失家屋の届出はお早めに!!

### 税務課

税務課では、平成8年度固定資産税の適正な課税を行うため、家屋の実地調査をしております。

登記された家屋については、法務局から通知がありますが、登記されていない家屋については、申告がありませんと調査漏れとなり、誤った課税をする恐れがあります。

平成7年中に家屋を新築、増築または滅失(取り壊し)された方は、お早めに税務課へ連絡ください。

くわしくは、役場税務課まで問い合わせください。

## 利率が引き下げられました。伊方町と労働金庫の提携融資

### ●勤労者住宅建設資金融資●

- 融資額・利率・返済期間  
500万円以内・(固定)年3.96%  
(変動)年2.23%・240ヵ月以内
- 融資対象  
新築・増改築・建売・中古住宅(住宅金融公庫の基準)・宅地(500㎡以下)の購入

### 利用できる人

- ・町内に居住もしくは居住しようとする勤労者。
- ・同居(予定)家族がある方。
- ・町税を完納し、所得が1000万円未満で返済能力があると認められる方。

### ●勤労者教育資金融資●

- 融資額・利率・返済期間  
200万円以内・年3.1%・60ヵ月以内
- 資金使途  
教育に関する全ての資金

### 利用できる人

- ・満20歳以上60歳未満の方で、同一事業所に原則として1年以上勤務し、返済能力があると認められる方。
- ・町税の完納者で、所得が200万円以上1000万円未満の方。
- ・未組織の方は、地区勤労者共済会の会員に加入いただける方。(勤労者住宅融資も同様)

くわしいことは労働金庫八幡浜支店(☎22-1292)へおたずねください。

## 命を守ろう!住宅防火

消防ワンポイントアドバイス  
(災害に備えて日頃の火の用心)

### 洗濯物をストーブで乾かすことはやめましょう

ストーブは、寒い季節には欠かせないものですが、その上で洗濯物を乾かすなどの間違った使い方をすると火事の原因になります。

ストーブで暖まった空気は上に昇りますがこの空気の流れが、乾いて軽くなった洗濯物を揺らしたり、持ちあげたりしてストーブの上に落としてしまうのです。

もし、新しく暖房器具を買いかえる場合は、温風ヒーターなどのより安全なものをお勧めします。



伊方町消防団、消防署第二分署(火事・救急・救助は119)

## ねんきんコーナー

### 繰り上げ支給の老齢基礎年金を受けると特別支給の老齢厚生年金・退職共済年金は65歳まで支給停止となります

老齢基礎年金の支給開始年齢は65歳ですが、老齢基礎年金を受けられる条件を満たしている場合、本人の希望により65歳以前であつても、支給開始年齢を繰り上げて年金を請求することができます。

しかし、老齢基礎年金を繰り上げて請求すると、繰り上げ以前から支給を受けていた特別支給の老齢厚生年金・退職共済年金が65歳になるまでの間、年金の支給が停止されます。

加えて、次のようなことにも十分に注意する必要があります。

- 1 受け取る年金額は、請求した年齢に応じて、下表の割合で減額され、この減額の割合は65歳以降も発生かわることがありません。
- 2 請求した後で障害の状態になった時に、障害基礎年金を受けられませんが、厚生年金の加入者になったとき(会社に再就職したなど)は、年金の支給が停止されません。
- 3 老齢基礎年金を繰り上げて請求すると、後で請求の取り消しや変更をすることができません。くわしくは、役場の国民年金係まで問い合わせください。
- 4 老齢基礎年金を繰り上げて請求すると、後で請求の取り消しや変更をすることができません。くわしくは、役場の国民年金係まで問い合わせください。

繰り上げた年齢	減額率
60歳	0.42
61歳	0.35
62歳	0.28
63歳	0.20
64歳	0.11

# 社会活動への参加と 自立を促進

## 第15回障害者と健常者のふれあい広場

10月31日(火)町見体育館で、「第15回障害者と健常者のふれあい広場」が開催されました。この「ふれあい広場」は、伊方町身体障害者協会の主催で、身体障害者と地域住民が、地域において共に参加し、交流する機会を設けることにより、相互の理解と関心を深め、もって身体障害者の社会活動への参加と自立を促進することを目的に毎年行われています。



開会行事の後、町見歯科診療所歯科医師の宇都宮久記先生から、「噛むこととの大切さ」地域のオーラルヘルスケアを考へる」と題しての講演がありました。その後、休憩をはさんで、ミニ運動会が行われ、ゲーム、レクリエーションで親睦を深めました。

### お知らせ

町見体育館の改修工事は、展示ホール機器の老朽化に伴う全面改修・改装を行うもので、工事期間中は、何かとご不便をおかけしますが、ご協力の程お願いいたします。



### ふるさと再発見 〜郷土にまつわる昔ばなし〜

さればとさる。米どころの宇和盆地では、晩秋の風物詩「わらくろ」作りが始まるとい。

年々減りつつある昔ながらの風習を、宇和町へ来なはった人たちに間近で見てもらおうと精出して作りよなははつとや。ご縁があつてなあ、宇和町岩木の勝光寺をたね、住職さんに、牧野純蔵の墓碑「天賦院純道盛徳居士」へ案内してもらつと。純蔵は、天保七年(一八三六)一月十八日、伊方町豊之浦の辻家の生まれじゃそうな。

辻家は、代々伊方町の庄屋でなし、父は十代目長作と呼び、純蔵はその三男じゃつと。生来、肝っ玉が太く賢明で実行力があつた。子供のころに家を出て、大洲藩の儒者「丸山四郎」の教えを受けて、勉学に励んだとい。

その後、純蔵は十五歳ころから豊後(今の大分県)へ渡る」と題しての講演がありました。その後、休憩をはさんで、ミニ運動会が行われ、ゲーム、レクリエーションで親睦を深めました。

### 初の国会議員 「牧野純蔵」

年(一八八一)五月には、愛媛県議員に推され初当選。自來、明治二十二年(一八九九)一月まで、四回も県議会に席をおいたが、

万延元年(一八六〇)大江村牧野庄屋は、岩木村庄屋(末光孫兵衛)と入れ替へになり、岩木村の庄屋になつたとい。岩木村内は、貧困な村で騒動や訴訟事が絶えず、そのよな地域で純蔵はよく働き、村内の治安や年貢の完納に努めた。

次第に村人からは信頼を受け、生活も豊かになつていつた。明治三年(一八七〇)から庄屋は廃止となり、牧野純蔵は岩木村最後の庄屋として記録にも残されたとし、続いて、初代村長(戸長)及び郡書記を数年間勤めたが、その優秀な才能と真摯な人柄が広く認められて、明治十四

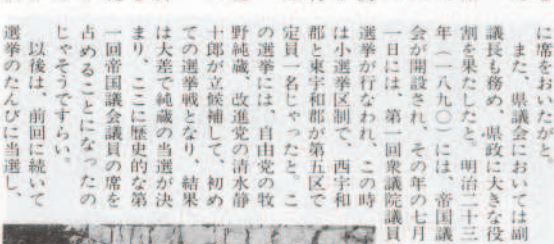
年(一八八一)五月には、愛媛県議員に推され初当選。自來、明治二十二年(一八九九)一月まで、四回も県議会に席をおいたが、

また、県議会においては副議長も務め、県政に大きな役割を果たした。明治二十三年(一八九〇)には、帝國議院が開設され、その年の七月一日には、第一回衆議院議員選挙が行なわれ、この時は小選挙区制で、西宇和郡と東宇和郡が第五区で定員一名じゃつた。この選挙には、自由党の牧野純蔵、改進黨の清水静十郎が立候補して、初めての選挙戦となり、結果は大差で純蔵の当選が決まり、二に歴史的な第一回帝國議院議員の席を占めることになつたのじゃそうです。

以後は、前回に続いて選挙のたびに当選し、

第五回帝國議院の後で、純蔵は政界から隠退して郷里の岩木村にもつてからは、風月を友に悠々自適の生活を送つたが、宇和町の偉大なる人物として崇められ、初代の国会議員のほかに多くの足跡を残した純蔵は、明治二十六年(一九〇二)五月二十九日、病に臥せて六十六歳の生涯を閉じ、墓碑銘には、経歴が二百二十六文字の漢字で刻され、宇和町岩木の勝光寺墓地に想ろに葬られております(臨時掲載)

中央が牧野純蔵の墓碑



中央が牧野純蔵の墓碑

## 第1回中学生海外派遣団ホームステイ体験記③

### My best summer

伊方中学校 3年 中元 薫

私のホストファミリーは、父のJOHN,母のMERYHESS,14才のAMELIA,11才のANNA,6才のJONNです。みんなとても明るく、優しい人です。最初2日ぐらいいは、緊張などでほとんど解らなかつた英語も、3日目ぐらになると、慣れやみんな解りやすいように一生懸命話してくれたので、だいたい解るようになりました。5日間という、短い間だったけどいろいろな事を経験しました。日曜日の朝には、教会のミサに出席しました。そして、私とAMERIAとANNAで司教さんにお菓子などを渡しました。言っている事全てが英語で、よく解らなかつたけど、AMERIAやMOTHERが、たまに教えてくれたので嬉しかったです。それから、祭りでAMERIAやANNAがたくさん友達を紹介してくれました。みんな、楽しい人ばかりなんだけど、緊張などで何を話していいか解らず、ほとんど話す事ができませんでした。そんな中、私の心に強く残っているのは、FATHERが日本語の辞書や資料を見て少し勉強してくれたことです。「こんにちは」「おはよう」など、片言しか話せないのだけどすごく嬉しかったです。最後の夜には何度も「さよなら」とみんなが言うてくれました。最初は、不安だったホームステイもあっという間に終わりました。わたしは、はっきり言って満足していません。それは、自分の英語に自信がなくて、あまり話す事が出来なかつたからです。結果、お別れの時も、言いたい事はたくさんあったのに、「THANK YOU」と「GOOD-BY」しか言う事が出来ませんでした。だから、いつかまた、会いに行きたいと思つています。今度は、いろいろなことを話したいです。「Thank you very much letting stay in your house, I enjoyed my stay very very much, See you again,」



右から3番目が中元さん

### It is the best memory

伊方中学校 3年 朝井 洋晶

中学で英語を習い始めた時から、アメリカに行きたいと思つていたので、この体験は僕にとって最高の宝物となりました。僕のホストファミリーは、父のジェリー、母のキャンディー、そして娘のジーナに息子のポールです。本当はとっても不安でした。言葉がうまく通じるか分からないし、手紙を書いたものの、向こうのことを全く知らなかつたからです。でも、初めて会ったときのあの笑顔は、そんなものを吹き飛ばしてくれそうでした。始めは「Say that again」や「Slowly, please」ばかり言つていた僕に氣をつつてくれて、ゆっくり話してくれたり、紙に書いてくれたりしました。でも、いろいろ日本のことを紹介していくうちに、普通に話せるようになっていきました。僕が言いたいことが伝わらなくても目を見て真剣に聞いてくれた姿は、今でも頭に残っています。そんな態度見習いたいと思つました。一番楽しかったのは、ボールやアンディや佐々木君、細中君らとバスケットをしたことです。僕は部活でバスケットをしていたから、全力で楽しめたからです。あっと言ひ間にホームステイの6日間が過ぎました。本当にこんなに楽しく生活できたのは、ホストファミリーがやさしく接してくれたからだと思つています。だけど、ジーナとはほとんど話しをしていないし、キャンディーにはお土産の習字道具の使い方を十分に教えられなかつたし、まだまだしたいことはあつたけど、ホストファミリーにはとても感謝しています。別れの時、キャンディーは「Your English very well」と言うてくれました。この言葉を励みに英語をいっそうがんばりたいと思つています。多くの友達、多くの思い出ができた海外派遣、僕はあれだけで終わるのではなく、これからも手紙などで交流していきたいと思つています。「I hope we will see each other again Someday」



ホストファミリーと朝井君

歳時記

フグ

フグのおいしい季節になりました。フグちり、フグ雑炊、フグのひれ酒などを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。フグ料理のなかでも、特にフグの刺し身は有名です。菊の花やクジャクの形に盛りつけたものは、まさに食の芸術品、美食家のあこがれの的

です。昔は「フグは食いたし、命は惜しし。など」と言いました。中国の詩人・蘇東坡がフグを好み、「一死に値す。と言ったことも知られています。でも最近では、フグ中毒の話はあまり聞きません。これは、フグ調理師の制度が行き渡ったことが一つ、それとフグ料理の主役であるトラフグの7割が養殖物だからです。養殖物は配合飼料の関係で、毒がないから

でしょう。フグが高級魚であることは、いまでも変わりはありませんが、最近ではスーパーなどでパックしたものを買って、家庭でフグちりを楽しむことができるほど出回るようになりました。また、フグ刺しにたれや薬味を添えたセットや、フグちりセットの宅配サービスもあります。

フグのことを、「ふく」と呼ぶ地方もあります。日本一のフグ市場である山口県下関市でも「ふく」と言います。これは「福」に通じるからともいわれています。フグは海底で

腹に水を吸い込んで吹っ飛ばしてえさを取ります。2番エネです。1人1人は検査合格にしてください。



お礼

福岡市早良区昭代二丁目18-29にお住まいの西水金治郎さんへ中浦出身から2万円広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

アイラブフグちゃん



「いじめをしないさせない見逃さない」  
子どもの人権を守る

第47回人権週間(12月4日~10日)

毎年、12月4日から10日までの1週間は人権週間です。人権週間は、国民一人ひとりが「人権」というものを再認識し、また、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省してみる週間でもあります。私たちが豊かな日常生活を営むためには、お互いの立場を尊重し、自分の権利ばかりを主張することのないよう心がけなければなりません。今年の人権週間では、「子どもの人権を守る」「いじめをしない・させない・見逃さない」「国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう」、「部落差別をなくそう」、「女性の地位を高めよう」、「障害者の完全参加と平等を実現しよう」の5項目を強調事項としてお



子どもは「いじめ」・「体罰」の問題、差別、いやがらせ、家庭内暴力などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員が法律局またはその支局へご相談ください。伊方町の人権擁護委員は次の方々です。木戸 巴(河内) 阿部 義定(川永田) 畑山 幸(畑)

12月3日~9日は「障害者週間」

年齢とともに心身機能が低下すれば、だれもが何らかの介助を必要とします。また、若くても、事故や病気などで、不便な生活を強いられることがあります。わたしたちは、常に「障害」と隣り合わせに生きているといっても過言ではありません。わたしたち一人ひとりが、障害を自分のことととらえること、特別なことを考えないこと、これが、「障害者週間」のテーマ「障害者の完全参加と平等」を実現する第一歩です。

町内の交通事故

Table with 2 columns: Date (11月1日現在) and Number of incidents. Rows include Total incidents (56), Fatalities (7), and Injuries (12).

人の動き

7,541人 | 男3,657人(+5人) | 人口 (+3人) | 女3,874人(+2人)

えんむすび

平成7年9月1日~9月30日 氏名 本籍地

おくやみ

平成7年9月1日~9月30日 死亡者 年齢 住所

お誕生おめでとう よい子に 育ってください

平成7年9月1日~9月30日 保護者 続柄 児名

歳末たすけあい運動 地域でささえ合うあったかいお正月

お寄せいただいた寄付金は、皆様の住む地域の一人暮らしや様々のお年寄り、林の不自由な人など、さまざまな手助けを必要としている人々のために役立てられています。

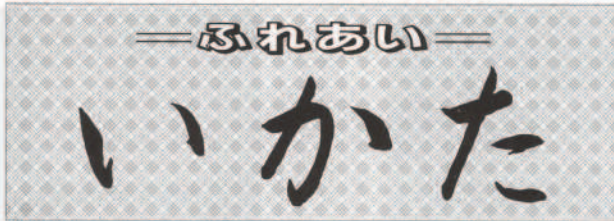


恒例の模擬火災訓練 12月1日に

町消防団では、12月1日(金)に、毎年恒例の模擬火災訓練を行います。今年の実験予定地は、湊浦地区と加周地区です。サイレンを午前5時50分から6時の間に吹鳴しますが、訓練ですのでお気をつけください。なお、「防火パレード」を3コースに分かれて、10時から行います。伊方町消防団・伊方町

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう



教育だより

〔発行〕伊方町教育委員会  
 〔編集〕社会教育課  
 〔印刷〕豊豫社

# 芸術の秋に 文化祭でふれあう



文化の香り高い町づくりをと十一月の二日、三日の両日にわたって「第二十回伊方町文化祭」が盛大に開催された。

伊方、町見の両会場では、子供からお年寄りの各層より丹精の込められた作品の展示や踊り、大正琴などの芸能発表が行われ、訪れた大勢の人たちは、「文化の日」の一日を堪能していました。



## 住みよい地域、 職場づくりを目指し 町議会、企業で同和教育の研修会

### 町議会議員 同和教育研修会

十一月六日には、町議会議員、課長職など三十四名が出席して、「町議会議員同和教育研修会」が中央公民館で開催された。

同研修会では、「日常生活における人権意識を見つめ直す」を学習テーマに八幡浜教育事務所、藤本宏社会教育主事を招き講話が行われた。藤本先生からは、自分と同

和問題との出会いや、いろいろな学習会から出た意見を取り上げ、それらの問題点について具体的な考え方を話され、指導者として、同和教育の推進に役立ててほしいと語っていた。また、出席された方たちも本町における同和教育のあり方や課題を見いだしていました。



### 企業 同和教育研修会

十一月十六日には、「明るい社会づくりと、差別のない職場」と題して、「社内同和教育基本研修会」（主催：四国電力伊方発電所）が開催された。

伊方発電所では、毎年、新入、転入社員を対象に同研修会が行われており、今回も四十名が出席。始めに、同和教育啓発映画を視聴し、続く講演では、採用選考の面接で身元調査や家族の職業、資産など就職差別につながるおそれのある内容などについて学習していました。これからは、同和問題の早期解決に取り組むために、企業内で働く一人ひとりの自覚と自己啓発を求め、一人でも多くの実践者の育成を目指してはしいものです。

## 自らを高め、人と人を結ぶ生涯学習

- 自ら学習し生きがいを求める 一人一学習
- 心のふれあいを育成する 一人一活動
- 健康や体力の増進を図る 一人一スポーツ

〈伊方町生涯学習推進目標〉

## 毎月第2日曜日は「家庭の日」です

### 12月のテーマ

- 1年間を振り返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう。
- 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう。



# 町小学校サッカー大会

## 接戦の末伊方小が制す

「町小学校サッカー大会」が十一月九日に伊方小学校で開催された。

この日は、少し寒むかったがサッカーをするには絶好の天候となり、出場した五チームの選手たちは、白いボールを追いながら一杯プレーしていました。

決勝戦では、昨年と同じ水ヶ浦小と伊方小の対戦となり、一対一の熱戦の末、延長戦も勝負がつかず、応援の見守る中、PK戦が行われ、伊方小

▶今年も楽しい婦人会の踊り場で場内を沸かす



衣装もバツチリ、きまつての熱演

PK戦 3-2  
優勝 伊方小  
二位 水ヶ浦小  
三位 九町小



▲素晴らしい発表に場内から拍手喝さい



▲「藤の花」を語る可愛い子ピツ子たち



▲美しい音色で演奏する大正琴

# 伊方スポーツ少年団(ソフト)「愛媛スポレク祭'95」で優勝

去る11月5日と12日に松山市で行われた「愛媛スポレク祭'95」に西宇和郡代表として出場した伊方スポーツ少年団(ソフトボール)が、2年ぶり2回目の優勝を果たしました。

対戦成績  
1回戦 伊方 3-2 浮穴(松山)  
準決勝 伊方 5-0 大江(新居浜)  
決勝 伊方 3-0 松前(伊予)



優勝を喜ぶ伊方スポーツ少年団

# 女性塾で「老人福祉」学ぶ

# まずは在宅サービスから

第三回伊方町生活文化女性塾を十月三十日に開催しました。今回は、今年度の学習テーマである「老人福祉」について、聖カタリナ女子大学助教授水相先生を講師に「地域に望まれる老人福祉施設」の講話と意見交換を行いました。

水相先生の講話では、日本人の平均寿命が年々延び、高齢化社会が進み、老人福祉問題が深刻化する中、平成元年に政府が出したゴールドプランにそって家庭介護から、公的介護へと変わってきている。その中でも町が今後建設予定の特別養護老人ホームについても、目先の事だけでなく、二十年後を見据えて、できるだけ小さな多機能施設を作るように、そして、在宅サービスが充実しないと施設が生きにくいので、まずは在宅サービスの充実を図ることが大切だと話されました。その後、塾生から給食サービスのあり方、男性の老後対策、福祉施設が出来ることでの波及効果等、様々な意見の交換をし閉会しました。



# 俳句くらぶ

# 短歌くらぶ

○かけいれや借りた猫の手西しくれ  
○むらがりて香る町花の石路さかり  
○身に沁むや山坂越えし五十年  
○野良生れ子猫日向てじゃれ遊ぶ  
○夕日いま海に移りぬ新松子  
○遠聞きや汲みし深井の温みあり  
○新築でぐつとたばねた野菜かな  
○鶏高音ばんとふくらみ少女の胸  
○玻璃越しに和紙のちきり陰秋日中  
○農婦たり小粒の芋も捨てられず  
○香空に枇杷の花咲くしろじろと  
○虎落笛電線工事夫吹きざらし  
○禪寺の山門に咲く石路の花  
○秋灯下墨する亡父眼裏に  
○交番の灯に一畫の花芒  
○菊の香や釣舟沖に小春風  
○点々と釣り舟沖に小春風  
○初冬や寺院めぐりし京の旅  
○白日の燈めく一処秋の海  
○一円を積みて園児も赤い羽根  
○翅広げうすき日を恋ふ冬の蝶  
○日に染まり彩極みゆく草紅葉  
○堂裏に古りし二つの落葉籠

山田正明  
有徳憲市  
松田政司朗  
志賀ともえ  
壺尾ひさえ  
吉田かずゑ  
古田しを  
古田かず子  
平井ちよ子  
城岡さか子  
二宮あきえ  
山口あき子  
渡辺なみえ  
城岡ちづる  
菊池あつ子  
山内うめ子  
大沢てる子  
林 ぞで子  
山田やよい  
山田みえ子  
川崎やす子  
岩井ふみえ  
岩見あい子

○あくまでも平和に咲ける石路の花  
○原子炉点るわが里の秋  
○雀らは吾が庭好きか日毎来て  
○日暮れの木々の陰路み遊ぶ  
○ばけのため寺々巡り経唱ふ  
○一心に祈りて今日も暮れたり  
○もつれつつ空の青さに染みてとぶ  
○つがいの蝶の羨しき真昼  
○松尾神社の太鼓響きてよき酒を  
○造ると杜氏等玉串なる  
○西空に定かならざるなごり月  
○朝のしじまを穂芒ゆらく  
○虫一つ静かに鳴きて昏戸照らす  
○今宵夜寒の十三夜  
○密柑摘む吾等を見てる鳥どちら  
○梢より「アッホーアッホー」と鳴く

宇都宮すみ  
菊池朱見子  
田中朝子  
梶谷千代子  
是沢美那恵  
武田美生子  
岡山桐子  
梶田ミヨ子

同和教育シリーズ 80

町同和教育研究大会

分散会の意見から

すべての町民が、地域ぐるみの同和教育を推進しよう、町同和教育研究大会が去る十月二十一日(土)、町民会館で行なわれた。

全体会では、基調講話、人権作文発表、武庫川女子大の田中 蔚先生が「今、光ってほしい」の演題で講演。

分散会は、三会場に分かれて「地域ぐるみで取り組む啓発活動を、どのように進めていくか」の統一テーマで話し合った。先ずは、参加者の声を聞いてみよう。

○小グループ別討議の方が、活発に意見が出る。

○話し合いの輪に入り易いよう、雰囲気づくりを考へよう。

○各種団体ごとに学習すれば参加者も多くなるのでは。

○出席者が少なく、参加者が固定化しているのでは。

○学習内容がマンネリ化、話し合いも形式的だ。

○若者の意見が前向きで、意識調査を実施し、以前と比べてどう変わったか。

○事前企画会を開催し、推進員の意識統一を図ろう。

○意識調査を実施し、以前と比べてどう変わったか。

○対象地域の方々と交流を深めていこう。

○地区懇の発想の転換が必要

記念碑が語る

波止竣工記念 (二見) ①①



波止竣工記念碑は、二見本浦の二宮客神社境内に建立されている。記念碑は、巨大な自然の青石に次のような墨跡が見られた。碑の正面には、

**波止竣工記念**  
昭和三十年一月  
二見部落

とあり、裏面には建設関係者、建設委員長、同副委員長、顧問、各委員の芳名が整然と刻されていた。

二見本浦には、明治初年ごろ創業の二見鉾山、中城鉾山があった。全盛期には、鉾山運搬船が出入りして、二見本浦は大変な活気だった。

二見鉾山の鉾石は、逆鉾されると、西浜の小波止から通い船で沖合の蒸気船に積み込まれていた。西浜の小波止は、埋め立てられて昔日の面影はない。中城鉾山は、鉾石を索道でおろして、トロッコで海岸の小波止まで運び出し、船を防護堤を造ってもうろうよう、開することになった。

地区の村会議員さんをはじめ、地元役員さん方の地道な努力が続けられた。

二見に防護堤なんかできるかやと嘲笑う人もあったが、役員さんの卑劣への陳情、国への陳情が実り、現在の防護堤が一気に完成を見た。

鉾山の往時を思ひ、足跡刻む防護堤となったのである。

ひとり一人の温かい心、  
どんな差別だって必ずなくなるはず。  
思いやりの心が、  
きっと明るい未来を開いてくれると思うんだ。

差別をなくする強調月間 11月11日(土)⇒12月10日(日)

同和教育の解決を全県民の手で

県では、同和教育の解決を全県民の手で達成するため11月11日から12月10日まで「差別をなくする強調月間」を設定し、いろいろな催しを行うなど、県民総ぐるみ運動を展開しています。

県民の皆さん、新しい時代を生きて子どもたちに、明るい未来を手渡すため家庭・地域・学校・職場などあなたの身近なところから差別をなくする運動を広めていきましょう。

- 主な行事・差別をなくする講演と映画のつどい
- 12月6日(水) 13:30~  
八幡浜市民会館
  - テレビ放映  
12月3日(日) 14:00~  
啓発映画 「追憶二十五年・その夏」

図書室だより

歴史小説を 読んでみませんか

新刊図書を購入しました。最近の図書利用の傾向は、歴史関係(フィクション)等を利用する人が増えています。

ある女性の方が、この図書室には、私の読みたい本が沢山あります。これからうんと読ませて頂きます」と、言われて、愛媛の歴史に関する本と、水井路子の歴史小説を選んでみました。

この方の会話に、「歴史小説は面白いですよ。特に私は、戦国時代を生きた女性に、興味を持ち始めました」と、語って下さいました。

この一冊の本により、今後価値ある生き方を学んで頂けるかも……

●新刊図書の紹介  
○フィクションから  
・深川港通り木戸番小屋  
・羽衣伝説の記憶  
・結婚物語  
・再会  
・天使の牙  
・華やかな誤算  
・十字路  
・夜のくもさる  
・星の輝き  
○エッセイから  
・兄・淳之介と私  
・千人針  
・恋のむこうに  
・破三国志  
・異戦国志  
・伸路さるが、歴史群像シリーズ」をベースとし発行したもので、様々な人間、戦いのドラマです。

- 12月の行事予定
- 6日 差別をなくする講演会 (八幡浜市)
  - 上旬 体育指導委員会 (中公)
  - 8日 郡総合社会教育推進会議 (保内町)
  - 11日 町青少年補導会 (中公)
  - 21日 社教委員・公運審会議 (中公)
  - 28日 仕事納め



放送日	再放送日	テーマ	ねらい
12月23日	12月16日	お母さんの質問箱	お母さん方は、子育てについて様々な悩みを持っています。育児の不安や悩みの具体的な事例を紹介し、その問題点と解決策について考えます。(乳幼児期全般)
12月26日	12月19日	助け合う子育て	子育ては親のみでできるものではなく、子どもをとりまく人たちの協力が必要である。なごやかな気持ちで助け合う家族の様子を紹介し、親のあり方について考えます。(乳幼児期全般)
あしたに 向かって これから の子育て	もっずぐ 一年生 不安と 期待	小学校入学は、親にとっても子どもにとっても、喜びであり、心配なこともあります。入学を控えた親や子どもは、心理をおいながら、その心構えや身につけておきたい生活習慣などを丁寧に導き、子どもへの望ましい接し方を考えます。(幼児期)	今の乳幼児たちは、21世紀の主役です。子どもを心身ともにすこやかに、たくましく育てるため、これからの子育ての課題について考えます。(乳幼児期全般)

提供 愛媛県教育委員会  
放送 南海放送

テレビで学ぶ家庭教育

「すこやかえひめつ子」放送スケジュール

○放送 土曜日 7:00~7:15  
○再放送 火曜日 10:55~11:10

'95.12月

# くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑦	8	9	10	11	12	13
⑭	⑮	16	17	18	19	20
⑳	22	23	24	25	26	27
㉑	29	30	31			

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
12月 1(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00) ○防火デー	17(日)	
2(土)		18(月)	■三種混合予防接種Ⅱ期(九町診療所 13:00~13:30)
3(日)		19(火)	■1才6ヶ月児健康診査(保健センター 13:00~14:00) ○入権相談(町民会館 10:00~15:00)
4(月)		20(水)	■三種混合予防接種(保健センター 10:00~11:00) ■オレンジ会(オレンジハウス 10:00~15:00) ★空缶収集日(川永田・豊之浦を除く伊方地区) ○心配ごと相談(町見公民館 13:00~17:00)
5(火)		21(木)	■なかよし広場(保健センター 9:30~11:30) ★空缶収集日(川永田・豊之浦・町見地区) ○税の徴収(向公民館 9:30~12:00)
6(水)	○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00)	22(金)	★発泡スチロール収集日(町内全域) ○給食サービス(町民会館 13:00~) ○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:00)
7(木)	■リハビリ教室(ワーク伊方 13:00~15:00)	23(土)	天皇誕生日 ★空ビン収集日(川永田・豊之浦を除く伊方地区)
8(金)	■リハビリ訪問(13:00~)	24(日)	
9(土)		25(月)	★空ビン収集日(川永田・豊之浦・町見地区) ○税の徴収(大成老人憩の家 9:30~12:00) ○税の徴収(鳥津集会所 13:00~15:00)
10(日)		26(火)	■乳児健診(保健センター 13:00~14:00) ○税の徴収(二見公民館 9:30~12:00) ○税の徴収(田之浦集会所 13:00~15:00)
11(月)		27(水)	
12(火)		28(木)	官庁仕事納め
13(水)	■健康教室(大成集会所 10:00~14:00)	29(金)	
14(木)		30(土)	
15(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00) ★不用犬回収日(役場・町見支所で受付) ○給食サービス(二見公民館 13:00~)	31(日)	
16(土)		1月 1(月)	元旦

## 酒は百薬の長と いうけれど…?!

今年も宴会のシーズンとなりましたが、「もう一杯」「もう一軒」と、ついつい“はしご酒”になってしまう左党諸氏はご用心。お酒は飲み方次第で“毒”にも“薬”にもなります。

肝臓病や二日酔いなどで悩むか、ストレス解消や疲労回復などに役立っているかは、その人の“頭を使った飲み方”で決まるといえます。

お酒と上手につき合う7か条

白ころから慢性で飲まないで、週2日の休肝日、年に1~2回の休肝週間をもうける。

食べながら飲んでアルコールの吸収を遅くし、血中のアルコール濃度を急激に上げないようにする。

夜12時をすぎず飲まない。夜12時は二日酔い防止と節酒のための「シンデレラ・タイム」。

自分の酒量を知り、度をこさない。

急ピッチで飲まず、なるべく時間をかけてマイペースで飲む。

濃い酒は、お湯や水で割って飲む。

毎日かなり飲んでる人は、宴会などでさらにたくさん飲まないようにする。